

城をめぐる戦国史

滋賀県には約 1300 の城跡があります。築城時期やその目的、構造や規模の大小など、それぞれの城にはその城独自の様々な特徴が備わっています。特に、戦国時代には、近江には強大な戦国大名がいなかったこともあり、県内各地に多様な城郭が築られました。まさに、近江の戦国時代は城の時代といえるでしょう。

本講座では、応仁の乱から織田信長の近江進攻を経て、関ヶ原の合戦にいたる時代に県内各地に築かれた城を取り上げ、城の変遷や歴史の中で果たした役割などを紹介し、城をめぐる近江の戦国史を描き出すことを目的とします。

○ 日程・テーマ

1. 4月21日 鈎の陣と伊庭の乱～戦国近江の幕開け

近江の戦国時代は応仁の乱の後、将軍の近江進攻と守護代伊庭氏の乱を経て、本格化します。将軍が布陣した鈎陣所跡や伊庭氏関連の城跡などを紹介するとともに、近江の戦国時代の特質について考えます。 講師：松下 浩（滋賀県教育委員会文化財保護課副主幹）

2. 5月19日 朽木を訪れた武将たち

朽木谷は山深い里で、近江守護六角氏や湖北の戦国武将浅井氏の力が及びにくい地域でした。戦国時代、京都での政争に敗れた足利将軍が近江守護六角氏を頼って近江に逃れた際に朽木に滞在していました。将軍を迎える屋敷跡や庭園などの遺構を紹介するとともに、朽木という地域の特質について考えます。 講師：仲川 靖（滋賀県教育委員会文化財保護課主幹）

3. 6月16日 流浪する将軍～足利義昭と近江

室町幕府最後の将軍足利義昭は、兄で 13 代将軍の足利義輝が三好・松永勢に殺された後、奈良を脱出して諸国を流浪し、自分を支援してくれる大名を求めます。そうした中、近江和田（甲賀市）や矢島（守山市）に滞在し、やがて越前に移り、ついに織田信長の支援を経て上洛を果たします。義昭が滞在した屋敷跡を紹介するとともに、足利義昭と織田信長との関係について考えます。 講師：小竹森 直子（滋賀県教育委員会文化財保護課主幹）

4. 7月21日 安土城最新研究

特別史跡安土城跡の 20 年にわたる発掘調査が終了し、多くの成果をえることができました。現在、その調査成果をもとに、新たな解釈による新しい安土城像がいろいろな研究者から提起されています。近年提起された新しい安土城像を紹介し、それをめぐる諸問題について考えます。 講師：仲川 靖（滋賀県教育委員会文化財保護課主幹）

5. 9月15日 豊臣近江の成立～八幡・佐和山・大津・水口

豊臣秀吉は、近江全体を全国統治の中に戦略的に位置づけ、要所に拠点となる城を築きました。豊臣時代の近江の拠点城郭について紹介するとともに、豊臣政権における近江の位置づけについて考えます。 講師：松下 浩（滋賀県教育委員会文化財保護課副主幹）

○ 時 間 いずれも 13時30分～14時30分

○ 会 場 滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム（近江八幡市安土町下豊浦 6678）

○ 参加費 各回 200円（資料代等） 会場受付でお支払いください。

○ 定 員 先着 140名（当日 13時から受付。事前申し込みは不要です）

○ お問い合わせ先 滋賀県立安土城考古博物館 TEL：0748-46-2424